

第50回 杉並区区民意向調査

区政に関する意識と実態

(要約版)

この小冊子は、平成30年5月に実施しました「第50回杉並区区民意向調査」の結果のあらましです。ご協力いただきました区民の皆様にご心からお礼を申し上げます。

詳細につきましては、区政資料室、区立図書館、地域区民センターに備え付けの調査報告書をご覧ください。

平成30年10月

杉並区 総務部 区政相談課

【調査のあらまし】

- ・調査対象 満18歳以上の区民
- ・対象者 1,400人
- ・調査方法 郵送留置・訪問回収法
- ・回収数(回収率) 1,036人 (74.0%)
- ・調査時期 平成30年5月

【小冊子の見方】

- ・nはその設問の回答者数を表しています。
- ・回答結果は件数を基数とした百分率で算出し、小数第2位を四捨五入してあります。このため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答の場合は合計が100%を超える場合があります。

【調査項目】

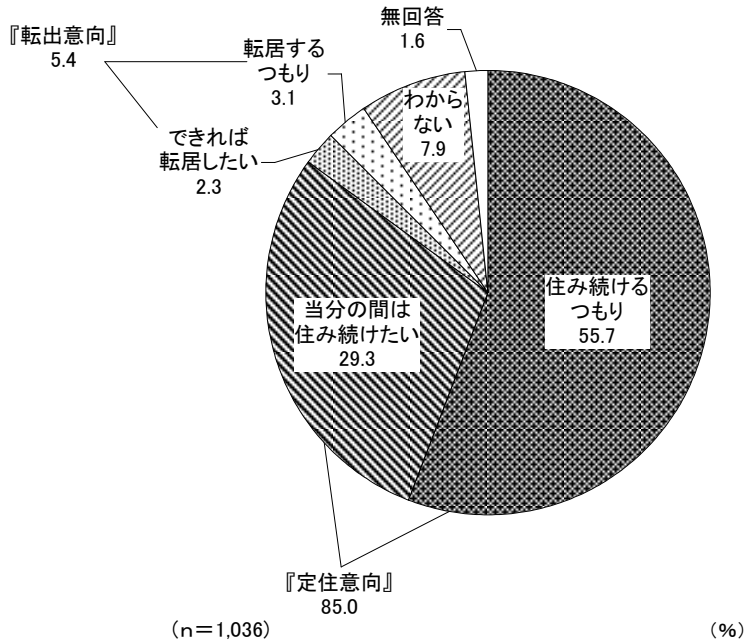
1. 定住性と生活環境について
2. 健康と医療、社会参加活動状況について
3. 地域防災について
4. 「杉並区基本構想（10年ビジョン）」について
5. 区の情報について
6. 子育て支援に関する意向について
7. 商店街について
8. 高齢者在宅支援について
9. 環境に配慮した行動について
10. 運動・スポーツについて
11. 狭あい道路拡幅整備について
12. 駅周辺の満足度について
13. 障害を理由とする差別や偏見の有無について
14. その他の区政について

1. 定住性と生活環境について

定住意向

『定住意向』が8割半ば

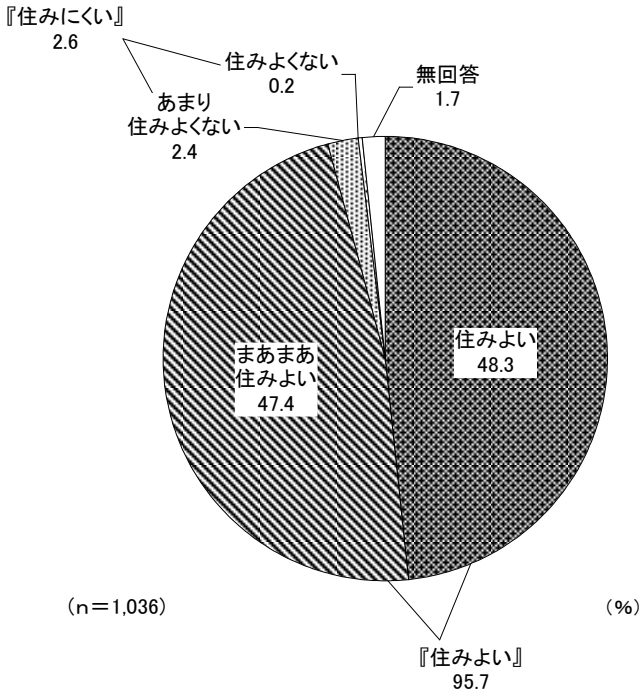
◆ 定住意向を聞いたところ、「住み続けるつもり」(55.7%)が5割半ばと最も高く、これに「当分の間は住み続けたい」(29.3%)を合わせた『定住意向』(85.0%)は8割半ばとなっています。一方、「できれば転居したい」(2.3%)と「転居するつもり」(3.1%)を合わせた『転出意向』(5.4%)は1割未満となっています。



住みやすさ

『住みよい』が9割半ば

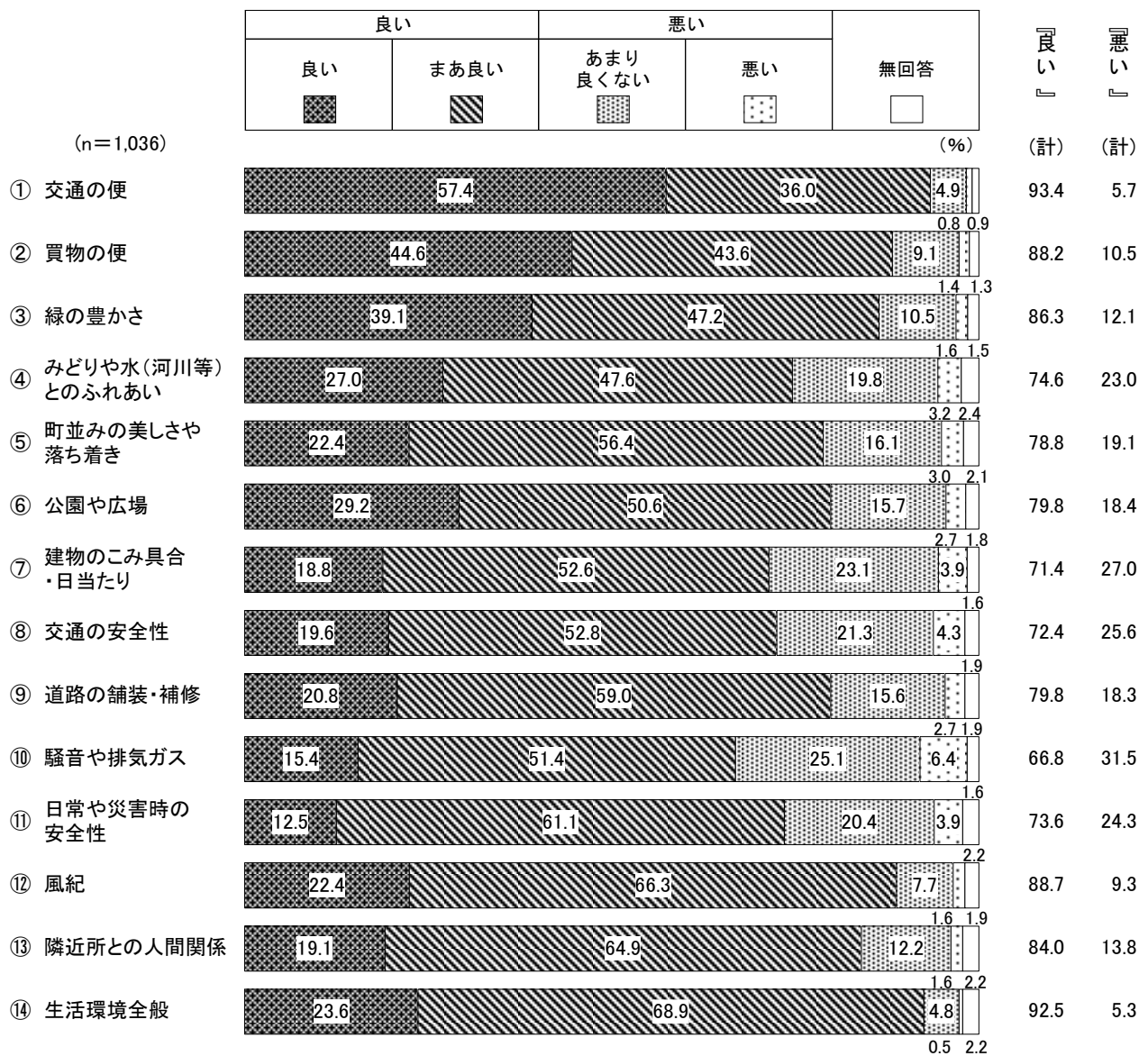
◆ 現在の杉並区は「住みよいまち」だと思いか聞いたところ、「住みよい」(48.3%)と「まあまあ住みよい」(47.4%)を合わせた『住みよい』(95.7%)は9割半ばとなっています。一方、「あまり住みよくない」(2.4%)と「住みよくない」(0.2%)を合わせた『住みにくい』(2.6%)はわずかとなっています。



生活環境の評価

<交通の便>と<生活環境全般>の『良い』が9割を超えて高評価

- ◆ 自宅周辺の生活環境について聞いたところ、「良い」と「まあ良い」を合わせた『良い』は【交通の便】(93.4%)と【生活環境全般】(92.5%)が9割を超えて高く、次いで【風紀】(88.7%)、【買物の便】(88.2%)、【緑の豊かさ】(86.3%)などの順になっています。一方、「あまり良くない」と「悪い」を合わせた『悪い』は【騒音や排気ガス】(31.5%)が3割を超えて最も高く、次いで【建物のこみ具合・日当たり】(27.0%)、【交通の安全性】(25.6%)、【日常や災害時の安全性】(24.3%)、【みどりや水(河川等)とのふれあい】(23.0%)などの順になっています。

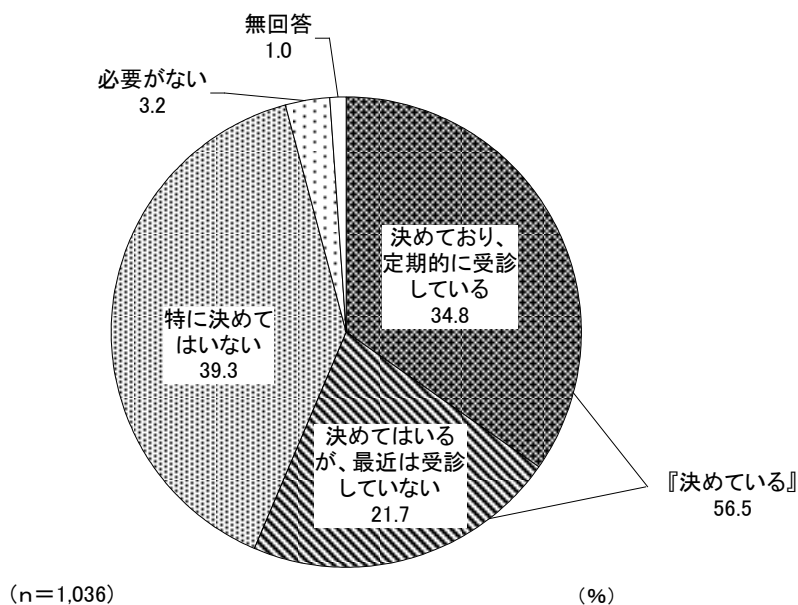


2. 健康と医療、社会参加活動状況について

かかりつけ医の有無

かかりつけの医者を『決めている』人が6割近く

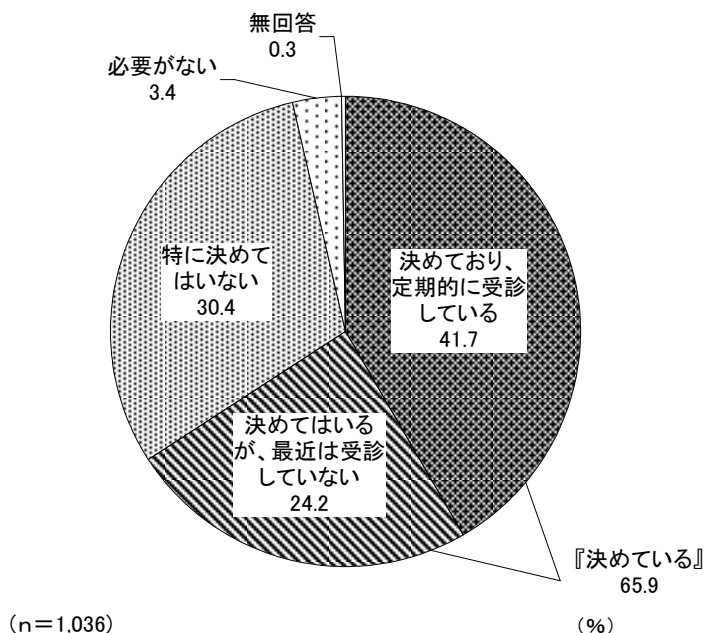
- ◆ かかりつけの医者を決めているか聞いたところ、「決めており、定期的に受診している」(34.8%)が3割半ばで、これに「決めてはいるが、最近を受診していない」(21.7%)を合わせた『決めている』(56.5%)は6割近くとなっています。一方、「特に決めてはいない」(39.3%)はほぼ4割、「必要がない」(3.2%)はわずかとなっています。



かかりつけ歯科医の有無

かかりつけの歯科医を『決めている』人が6割半ば

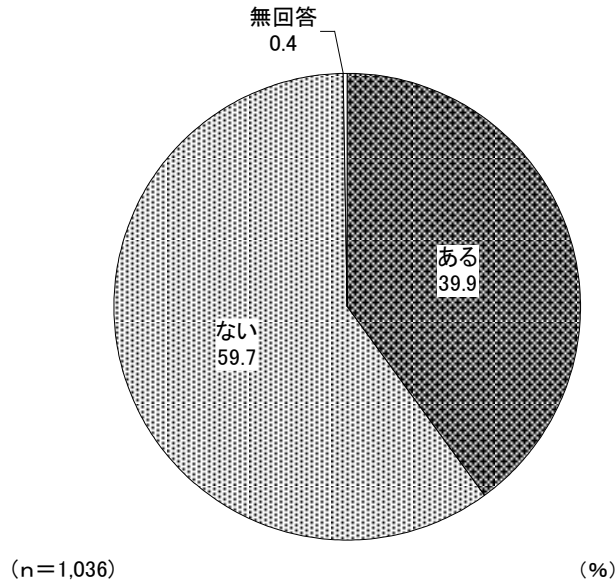
- ◆ かかりつけの歯科医を決めているか聞いたところ、「決めており、定期的に受診している」(41.7%)が4割を超えて最も高く、これに「決めてはいるが、最近を受診していない」(24.2%)を合わせた『決めている』(65.9%)は6割半ばとなっています。一方、「特に決めてはいない」(30.4%)は3割、「必要がない」(3.4%)はわずかとなっています。



かかりつけ薬局の有無

かかりつけの薬局が「ある」人が4割

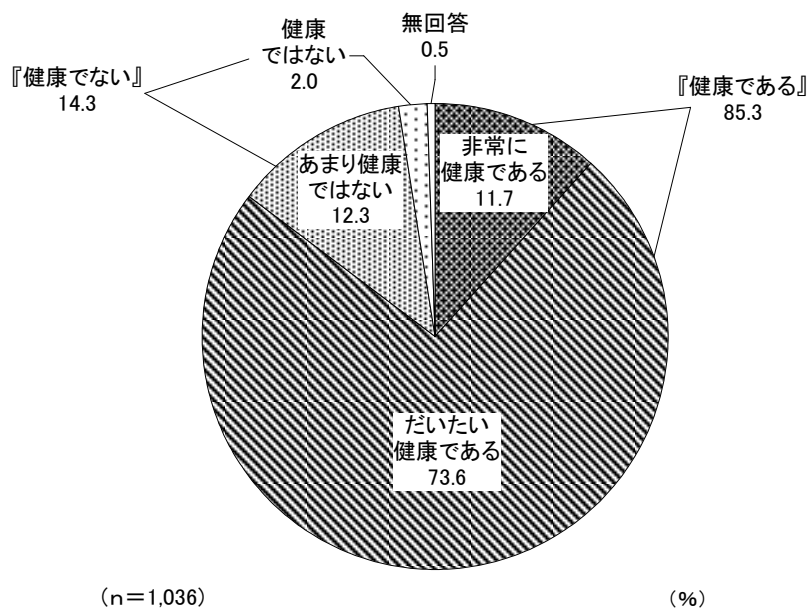
- ◆ かかりつけの薬局を決めているか聞いたところ、かかりつけが「ある」(39.9%)は4割となっています。一方、かかりつけが「ない」(59.7%)が6割となっています。



健康状態

『健康である』が8割半ば

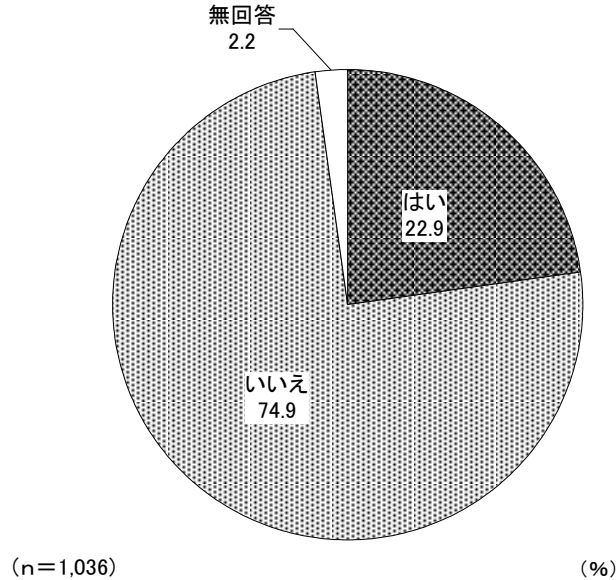
- ◆ 健康状態について聞いたところ、「だいたい健康である」(73.6%)が7割を超え、これに「非常に健康である」(11.7%)を合わせた『健康である』(85.3%)は8割半ばとなっています。一方、「あまり健康ではない」(12.3%)と「健康ではない」(2.0%)を合わせた『健康でない』(14.3%)は1割半ばとなっています。



救急医療体制への不安感

「はい」(不安を感じる)が2割を超える

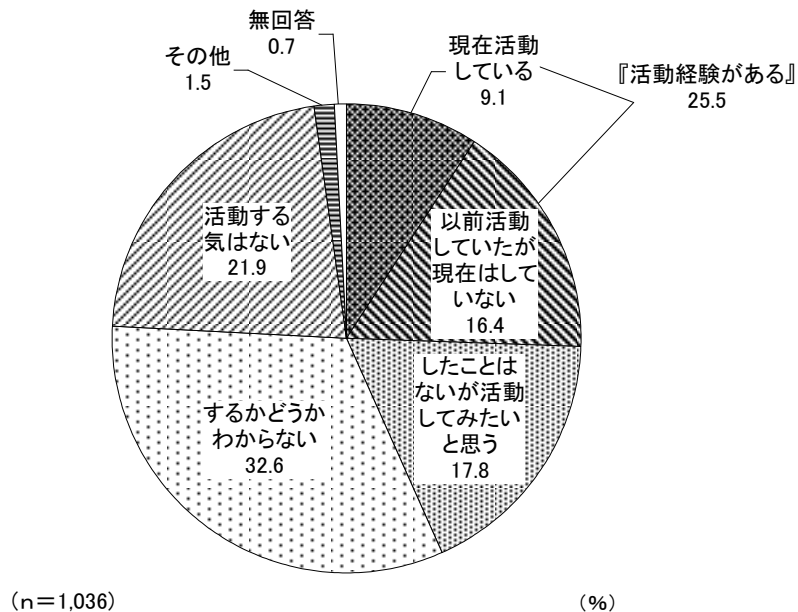
- ◆ 杉並区の休日・夜間の医療体制(救急医療体制)に不安を感じるか聞いたところ、「はい」(22.9%)は2割を超え、「いいえ」(74.9%)が7割半ばとなっています。



ボランティア活動経験

『活動経験がある』が2割半ば

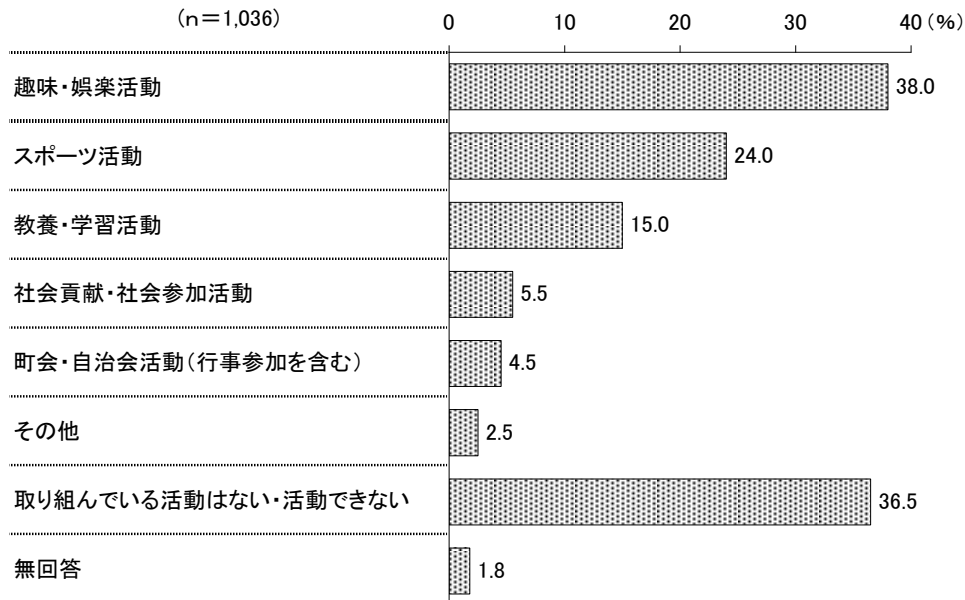
- ◆ ボランティア活動をした経験があるか聞いたところ、「現在活動している」(9.1%)と「以前活動していたが現在はしていない」(16.4%)を合わせた『活動経験がある』(25.5%)は2割半ばとなっています。「したことはないが活動してみたいと思う」(17.8%)は2割近く、「するかどうかわからない」(32.6%)は3割を超え、「活動する気はない」(21.9%)は2割を超えています。



社会参加活動状況

「趣味・娯楽活動」が4割近く

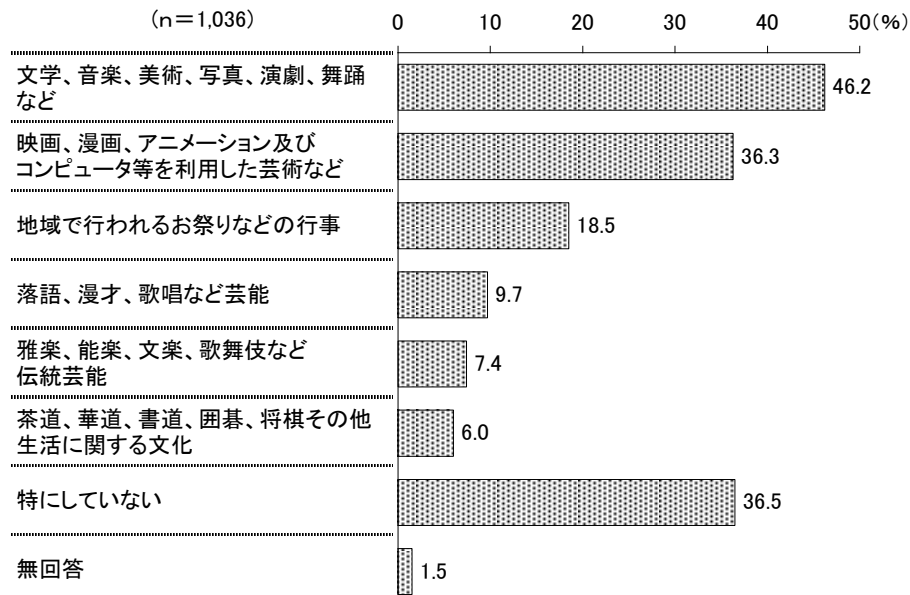
- ◆ 取り組んでいる趣味や習いごと、社会活動について聞いたところ、「趣味・娯楽活動」(38.0%)が4割近くと最も高く、次いで「スポーツ活動」(24.0%)、「教養・学習活動」(15.0%)、「社会貢献・社会参加活動」(5.5%)、「町会・自治会活動(行事参加を含む)」(4.5%)の順になっています。一方、「取り組んでいる活動はない・活動できない」(36.5%)は4割近くとなっています。



文化・芸術活動の有無

「文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊など」が4割半ば

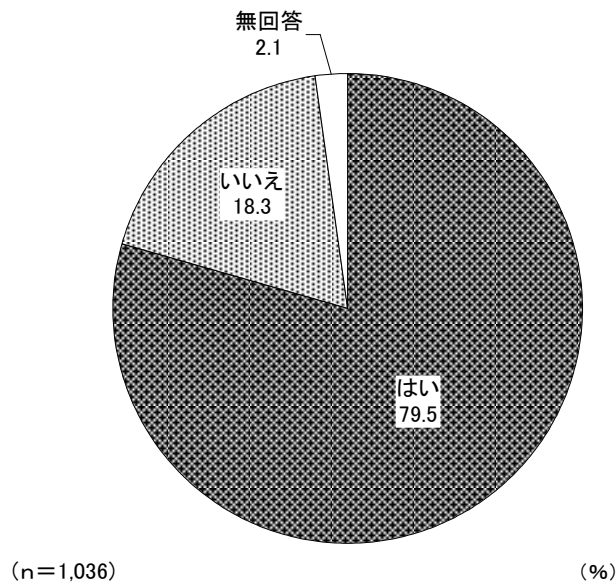
- ◆ 文化・芸術活動の有無について聞いたところ、「文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊など」(46.2%)が4割半ばと最も高く、次いで「映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術など」(36.3%)、「地域で行われるお祭りなどの行事」(18.5%)、「落語、漫才、歌唱など芸能」(9.7%)などの順になっています。一方、「特にしていない」(36.5%)は4割近くとなっています。



生きがいの有無

「はい」(感じている)が8割

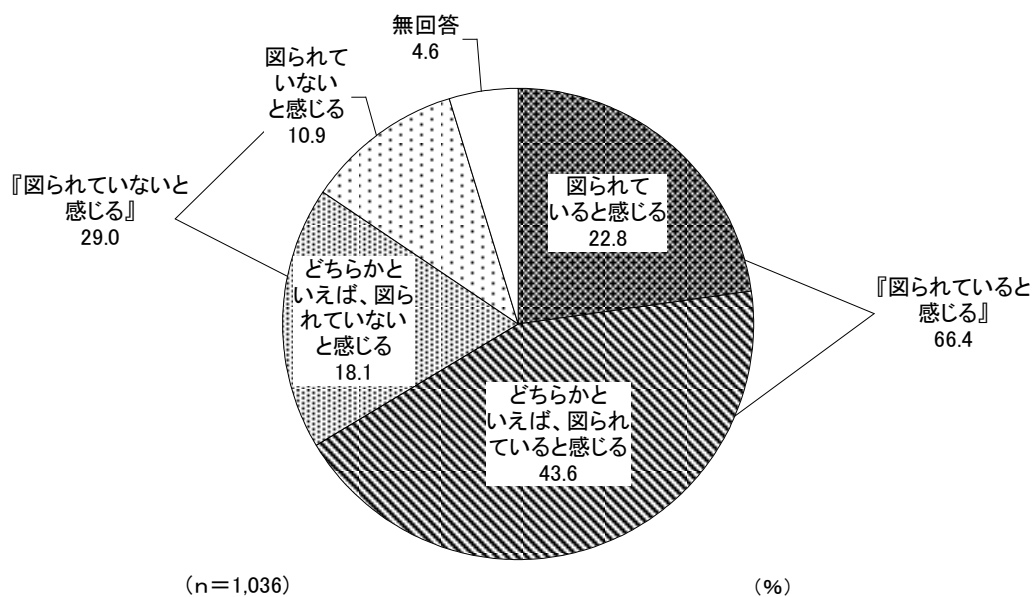
- ◆ 生きがいを感じているか聞いたところ、「はい」(79.5%)が8割、「いいえ」(18.3%)は2割近くとなっています。



仕事と生活の調和に対する意識

調和が『図られていると感じる』が6割半ば

- ◆ 仕事と生活の調和が図られていると感じるか聞いたところ、「どちらかといえば、図られていると感じる」(43.6%)が4割を超え、これに「図られていると感じる」(22.8%)を合わせた『図られていると感じる』(66.4%)は6割半ばとなっています。一方、「どちらかといえば、図られていないと感じる」(18.1%)と「図られていないと感じる」(10.9%)を合わせた『図られていないと感じる』(29.0%)はほぼ3割となっています。

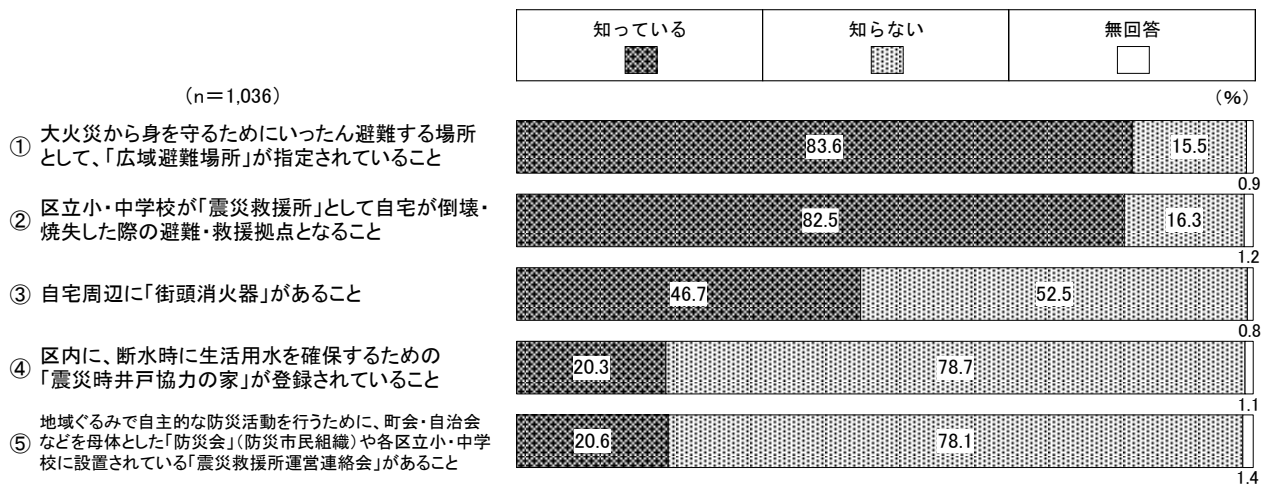


3. 地域防災について

震災対策に関する周知度

【広域避難場所】と【震災救援所】を「知っている」人が8割を超える

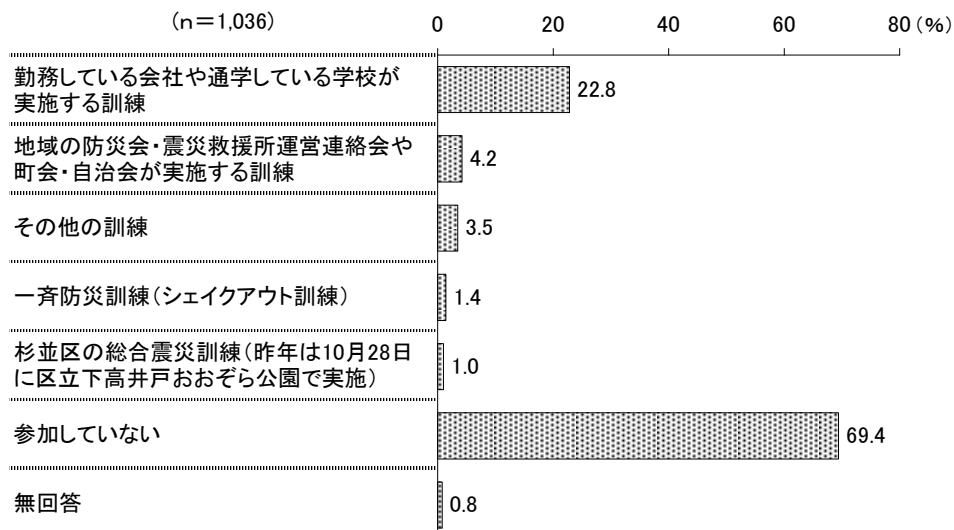
- ◆ 震災対策に関して知っている内容を聞いたところ、「知っている」は【広域避難場所】(83.6%)と【震災救援所】(82.5%)で8割を超えて高い割合を占めていますが、【街頭消火器】(46.7%)は5割近く、【防災会(防災市民組織)・震災救援所運営連絡会】(20.6%)と【震災時井戸協力の家】(20.3%)はほぼ2割であり、3項目で過半数を下回っています。



防災訓練の参加状況

「勤務している会社や通学している学校が実施する訓練」が2割を超える

- ◆ この1年の間に参加した防災訓練は何か聞いたところ、「勤務している会社や通学している学校が実施する訓練」(22.8%)が2割を超えて最も高く、次いで「地域の防災会・震災救援所運営連絡会や町会・自治会が実施する訓練」(4.2%)などの順になっています。一方、「参加していない」(69.4%)はほぼ7割となっており、何らかの訓練に参加した人は約3人に1人となっています。

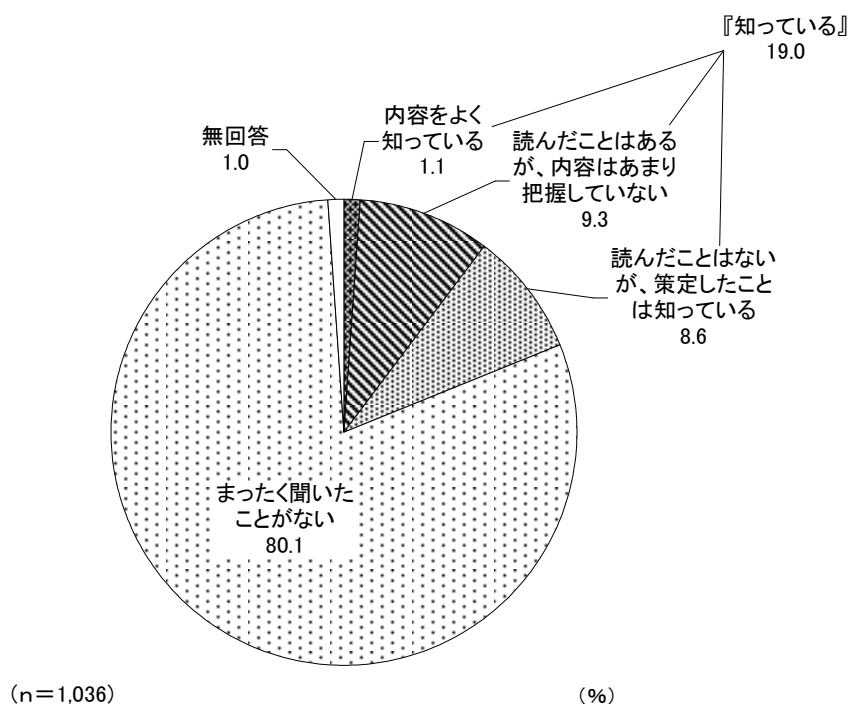


4. 「杉並区基本構想（10年ビジョン）」について

「杉並区基本構想（10年ビジョン）」の認知度

『知っている』人がほぼ2割

- ◆ 「杉並区基本構想（10年ビジョン）」について知っているか聞いたところ、「まったく聞いたことがない」（80.1%）が8割となっています。「内容をよく知っている」（1.1%）、「読んだことはあるが、内容はあまり把握していない」（9.3%）、「読んだことはないが、策定したことは知っている」（8.6%）を合わせた『知っている』（19.0%）はほぼ2割となっています。

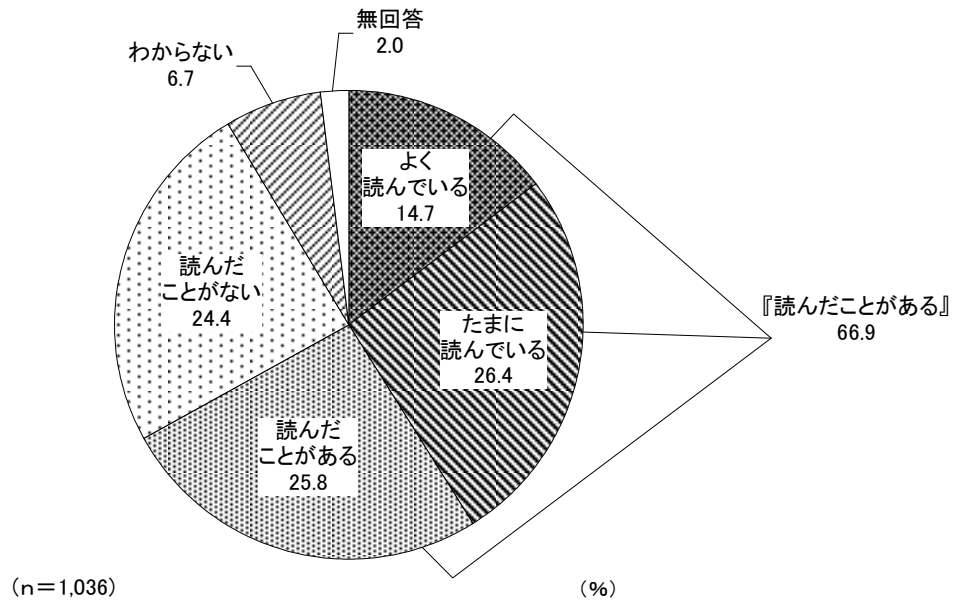


5. 区の情報について

広報紙の閲読状況

『読んだことがある』人が7割近く

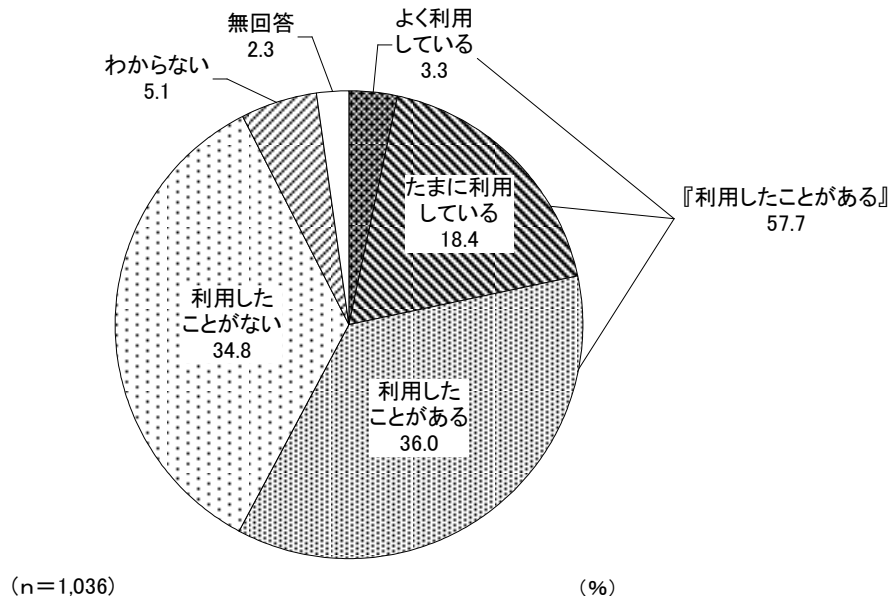
- ◆ 広報紙を読んだことがあるか聞いたところ、「たまに読んでいる」(26.4%)が2割半ばと最も高く、これに「よく読んでいる」(14.7%)、「読んだことがある」(25.8%)を合わせた『読んだことがある』(66.9%)は7割近くとなっています。一方、「読んだことがない」(24.4%)は2割半ばとなっています。



区公式ホームページの利用状況

『利用したことがある』人が6割近く

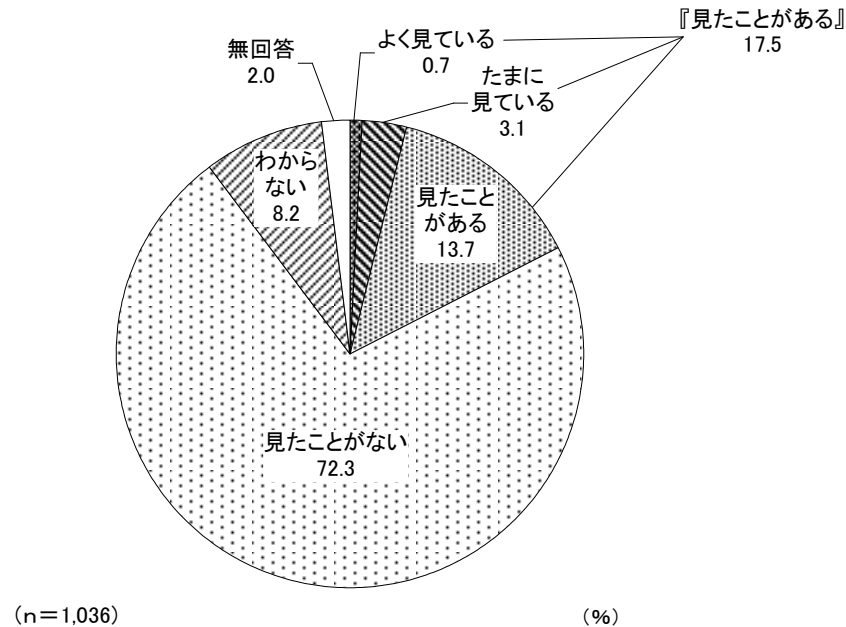
- ◆ 区公式ホームページを利用したことがあるか聞いたところ、「よく利用している」(3.3%)、「たまに利用している」(18.4%)、「利用したことがある」(36.0%)を合わせた『利用したことがある』(57.7%)は6割近くとなっています。一方、「利用したことがない」(34.8%)は3割半ばとなっています。



区の広報番組の視聴状況

『見たことがある』人が2割近く

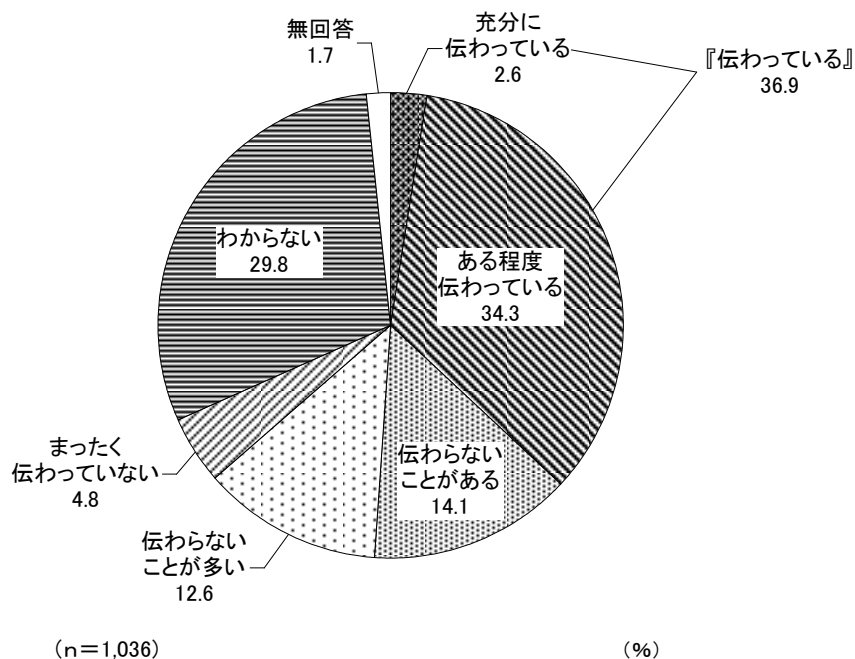
- ◆ 「すぎなみスタイル」「みんなで考えるすぎなみのコト」などの広報番組を見たことがあるか聞いたところ、「よく見ている」(0.7%)、「たまに見ている」(3.1%)、「見たことがある」(13.7%)を合わせた『見たことがある』(17.5%)は2割近くとなっています。一方、「見たことがない」(72.3%)は7割を超えています。



区の情報の伝達度

『伝わっている』が4割近く

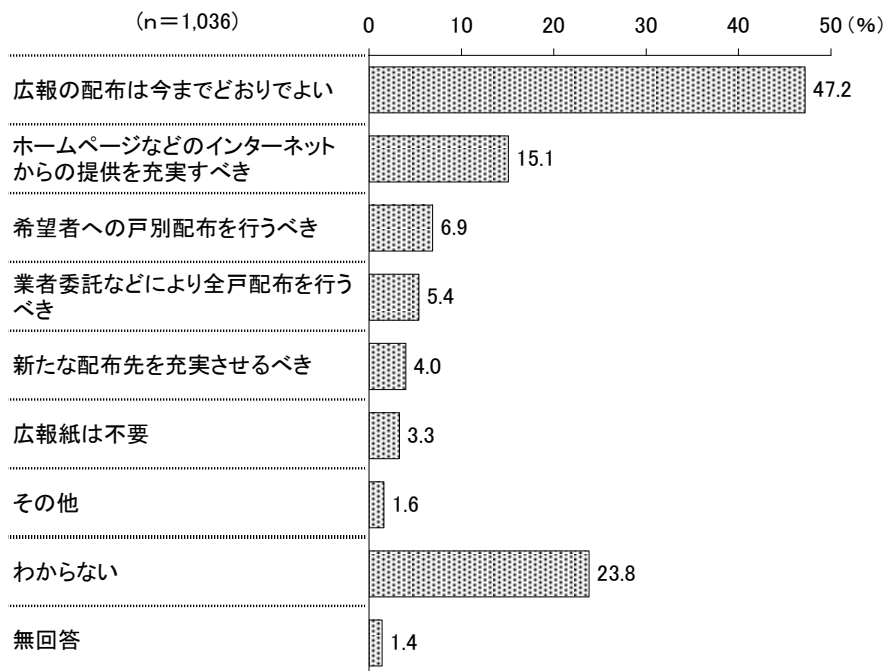
- ◆ 必要とする区の情報が伝わっているか聞いたところ、「ある程度伝わっている」(34.3%)が3割半ばで、これに「十分に伝わっている」(2.6%)を合わせた『伝わっている』(36.9%)は4割近くとなっています。一方、「伝わらないことがある」(14.1%)が1割半ば、「伝わらないことが多い」(12.6%)が1割を超え、「まったく伝わっていない」(4.8%)はわずかとなっています。



「広報すぎなみ」の配布方法

「広報の配布は今までどおりでよい」が5割近く

- ◆ 「広報すぎなみ」の配布方法について聞いたところ、「広報の配布は今までどおりでよい」(47.2%)が5割近くと突出しています。次いで「ホームページなどのインターネットからの提供を充実すべき」(15.1%)、「希望者への戸別配布を行うべき」(6.9%)、「業者委託などにより全戸配布を行うべき」(5.4%)、「新たな配布先を充実させるべき」(4.0%)などの順になっています。

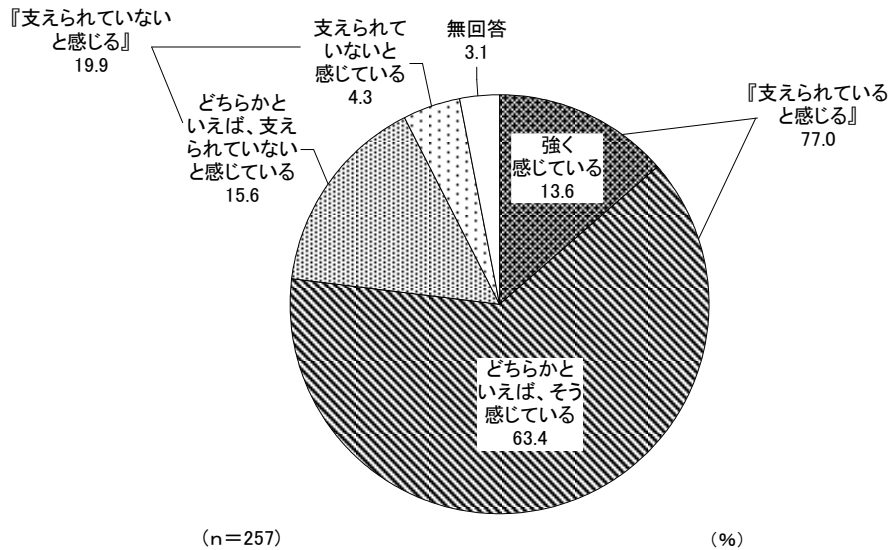


6. 子育て支援に関する意向について

地域の子育て支援についての意識

地域や社会に『支えられていると感じる』が8割近く

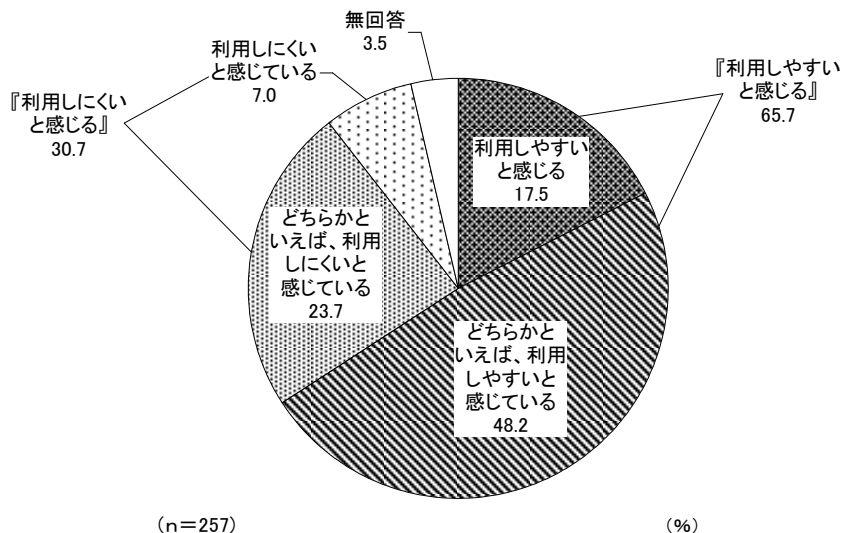
- ◆ 18歳未満の子どもがいる人（257人）に、子育てが地域の人に（もしくは社会で）支えられていると感じるか聞いたところ、「どちらかといえば、そう感じている」（63.4%）が6割を超え、これに「強く感じている」（13.6%）を合わせた『支えられていると感じる』（77.0%）は8割近くとなっています。一方、「どちらかといえば、支えられていないと感じている」（15.6%）と「支えられていないと感じている」（4.3%）を合わせた『支えられていないと感じる』（19.9%）は2割となっています。



地域の子育て支援サービス等の利用しやすさ

『利用しやすいと感じる』が6割半ば

- ◆ 18歳未満の子どもがいる人（257人）に、地域の子育て支援サービス・施設が利用しやすいと感じるか聞いたところ、「どちらかといえば、利用しやすいと感じている」（48.2%）が5割近くで、これに「利用しやすいと感じる」（17.5%）を合わせた『利用しやすいと感じる』（65.7%）は6割半ばとなっています。一方、「どちらかといえば、利用しにくいと感じている」（23.7%）と「利用しにくいと感じている」（7.0%）を合わせた『利用しにくいと感じる』（30.7%）はほぼ3割となっています。

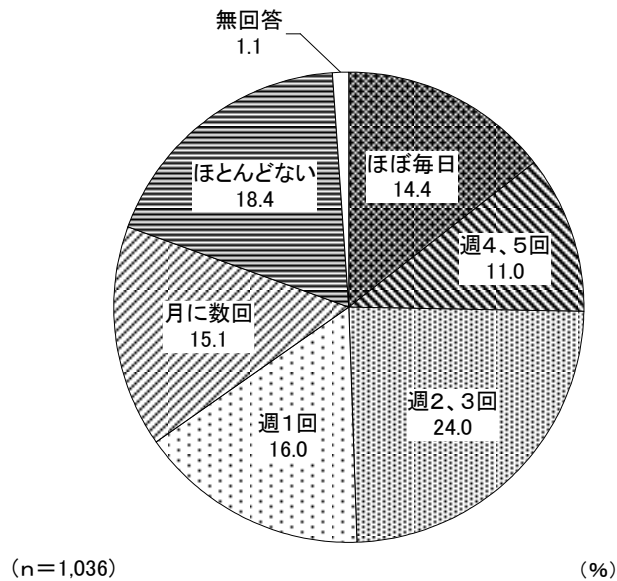


7. 商店街について

商店街の利用頻度

「週2、3回」が2割半ば

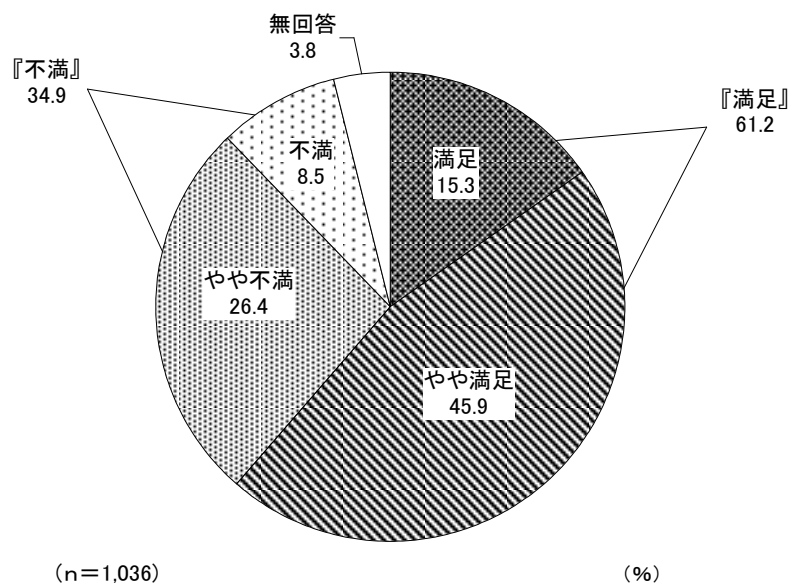
- ◆ 商店街の利用頻度について聞いたところ、「週2、3回」(24.0%)が2割半ばと最も高く、次いで「週1回」(16.0%)、「月に数回」(15.1%)、「ほぼ毎日」(14.4%)、「週4、5回」(11.0%)の順になっています。また、「ほとんどない」(18.4%)は2割近くとなっています。



商店街の満足度

『満足』が6割を超える

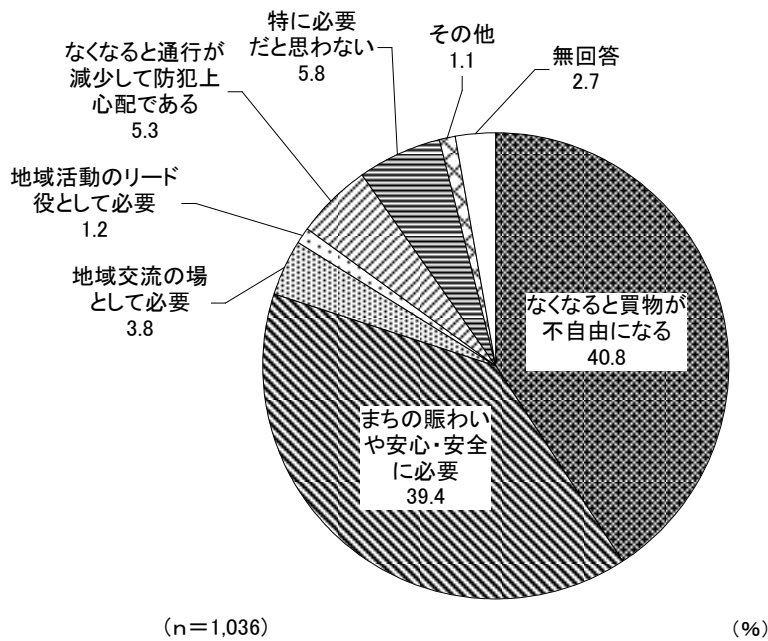
- ◆ 商店街の満足度について聞いたところ、「やや満足」(45.9%)が4割半ばで、これに「満足」(15.3%)を合わせた『満足』(61.2%)は6割を超えています。一方、「やや不満」(26.4%)と「不満」(8.5%)を合わせた『不満』(34.9%)は3割半ばとなっています。



商店街が必要な理由

「なくなると買物が不自由になる」と「まちの賑わいや安心・安全に必要」がほぼ4割

◆ 商店街が必要な理由を聞いたところ、「なくなると買物が不自由になる」(40.8%)と「まちの賑わいや安心・安全に必要」(39.4%)がほぼ4割と、この2項目が特に高くなっています。次いで「なくなると通行が減少して防犯上心配である」(5.3%)、「地域交流の場として必要」(3.8%)、「地域活動のリード役として必要」(1.2%)の順になっています。一方、「特に必要だと思わない」(5.8%)は1割未満となっています。

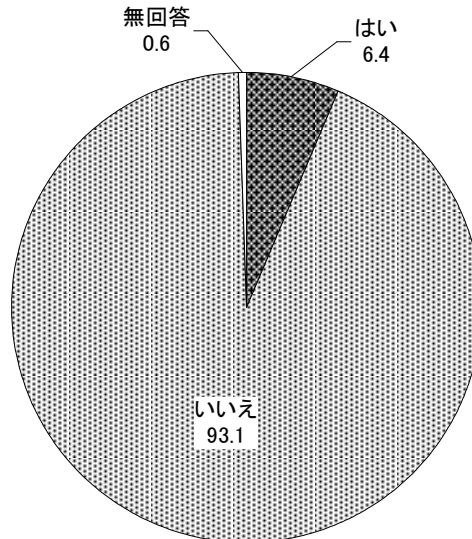


8. 高齢者在宅支援について

現在の介護状況

「いいえ」(介護をしていない)が9割を超える

- ◆ 現在、介護をしているか聞いたところ、「いいえ」(93.1%)が9割を超え、「はい」(6.4%)は1割未満となっています。



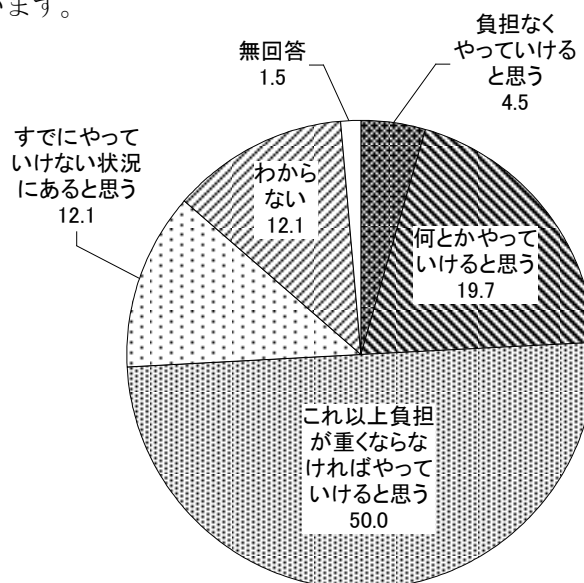
(n=1,036)

(%)

今後の在宅介護の見通し

「これ以上負担が重くならなければやっていけると思う」が5割

- ◆ 現在の介護状況で「介護をしている」と答えた人(66人)に、今後の在宅介護の見通しを聞いたところ、「これ以上負担が重くならなければやっていけると思う」(50.0%)が5割と最も高く、次いで「何とかやっていけると思う」(19.7%)、「すでにやっていけない状況にあると思う」(12.1%)などの順になっています。



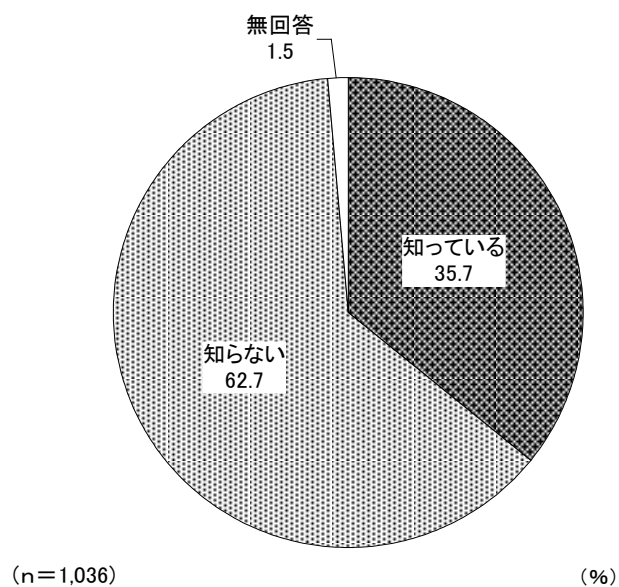
(n=66)

(%)

地域包括支援センター（ケア24）の認知度

「知っている」人が3割半ば

- ◆ 地域包括支援センター（ケア24）を知っているか聞いたところ、「知っている」（35.7%）は3割半ば、「知らない」（62.7%）が6割を超えています。

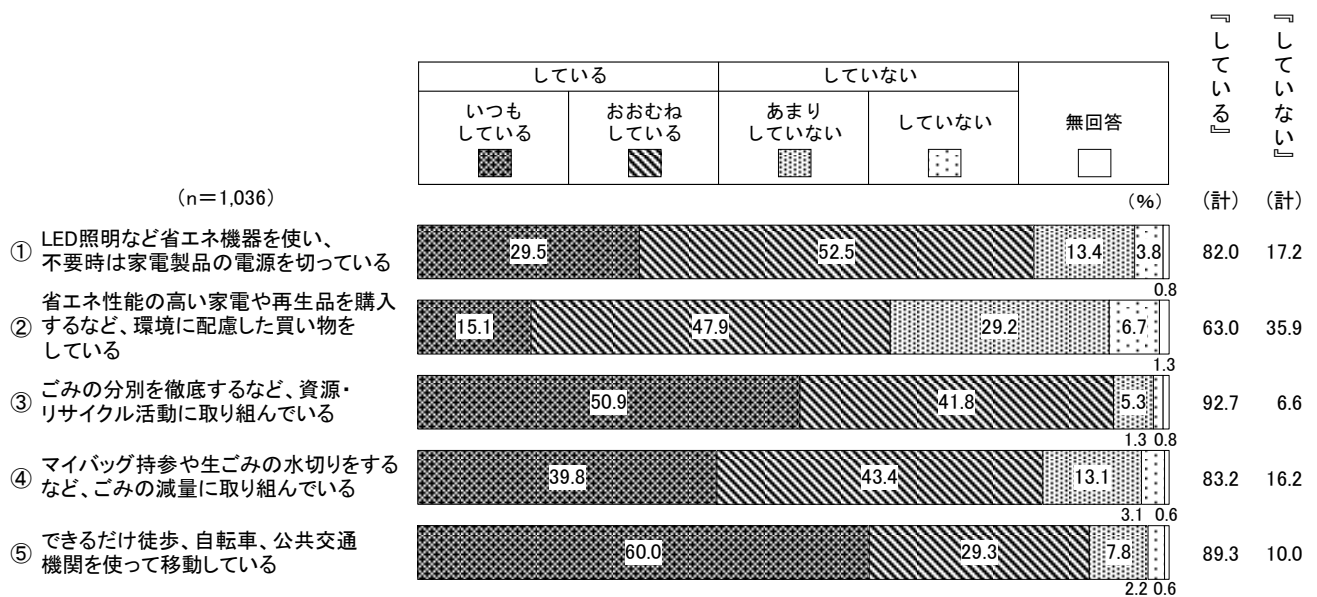


9. 環境に配慮した行動について

環境に配慮した行動への取り組み

【ごみの分別を徹底するなど、資源・リサイクル活動に取り組んでいる】を『している』人が9割を超える

- ◆ 環境に配慮した行動への取り組みについて聞いたところ、「いつもしている」と「おおむねしている」を合わせた『している』と答えた人は、【ごみの分別を徹底するなど、資源・リサイクル活動に取り組んでいる】(92.7%)で9割を超え、【できるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を使って移動している】(89.3%)でほぼ9割、【マイバッグ持参や生ごみの水切りをするなど、ごみの減量に取り組んでいる】(83.2%)と【LED照明など省エネ機器を使い、不要時は家電製品の電源を切っている】(82.0%)で8割を超えています。一方、「あまりしていない」と「していない」を合わせた『していない』と答えた人は、【省エネ性能の高い家電や再生品を購入するなど、環境に配慮した買い物をしている】(35.9%)で3割半ばとなっています。

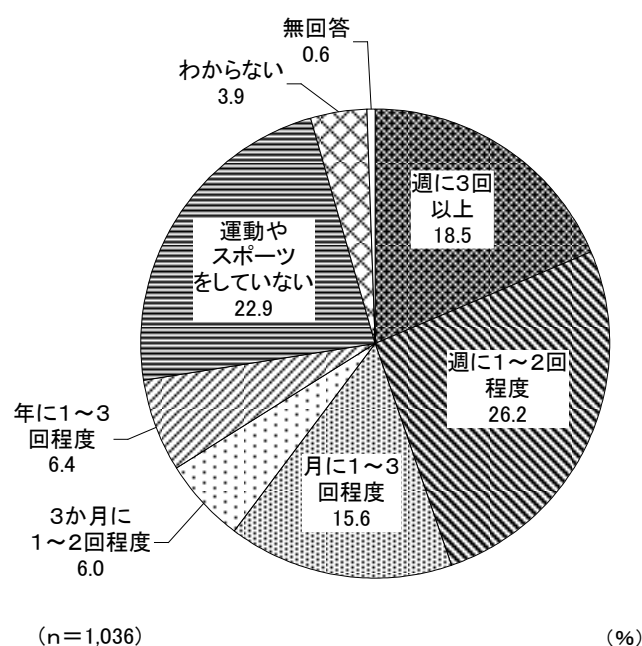


10. 運動・スポーツについて

この1年間の運動やスポーツの実施状況

「週に1～2回程度」が2割半ば

- ◆ この1年間の運動やスポーツの実施状況について聞いたところ、「週に1～2回程度」(26.2%)が2割半ばと最も高く、次いで「週に3回以上」(18.5%)、「月に1～3回程度」(15.6%)、「年に1～3回程度」(6.4%)、「3か月に1～2回程度」(6.0%)の順になっています。一方、「運動やスポーツをしていない」(22.9%)は2割を超えています。

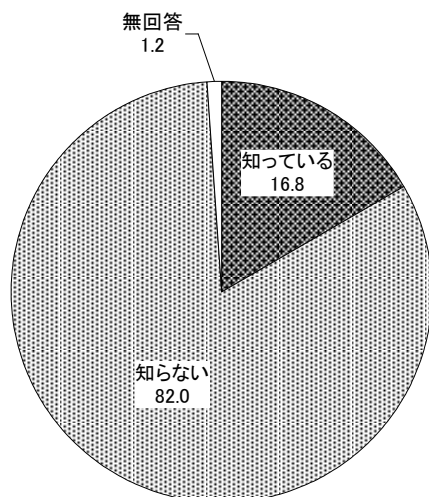


11. 狭あい道路拡幅整備について

「狭あい道路拡幅整備事業」の認知度

「知っている」人が2割近く

- ◆ 「狭あい道路拡幅整備事業」を知っているか聞いたところ、「知っている」(16.8%)は2割近く、「知らない」(82.0%)が8割を超えています。



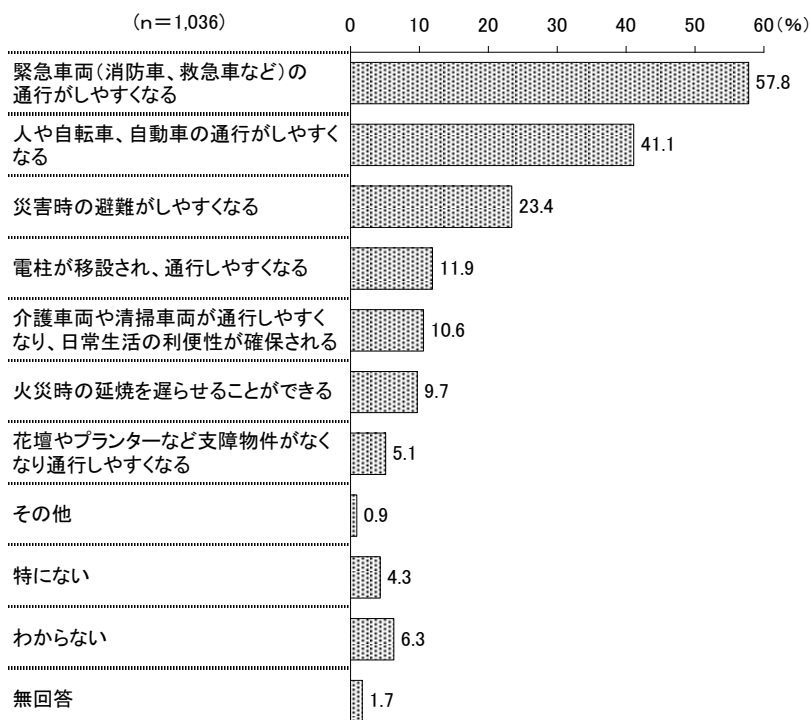
(n=1,036)

(%)

狭あい道路が広がることで期待すること

「緊急車両（消防車、救急車など）の通行がしやすくなる」が6割近く

- ◆ 狭あい道路が広がることで期待することを聞いたところ、「緊急車両（消防車、救急車など）の通行がしやすくなる」(57.8%)が6割近くと最も高く、次いで「人や自転車、自動車の通行がしやすくなる」(41.1%)、「災害時の避難がしやすくなる」(23.4%)、「電柱が移設され、通行しやすくなる」(11.9%)などの順になっています。

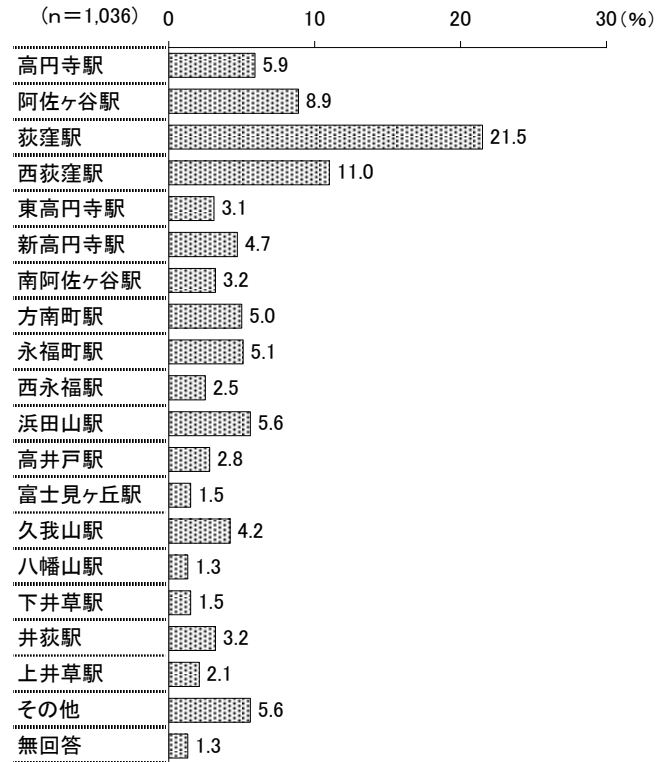


12. 駅周辺の満足度について

よく利用する駅

「荻窪駅」が2割を超える

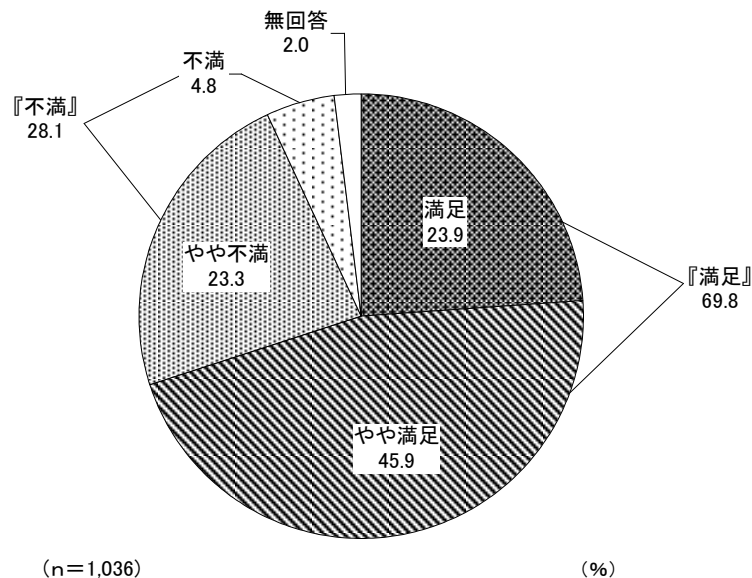
- ◆ よく利用する駅を聞いたところ、「荻窪駅」(21.5%)が2割を超えて最も高く、次いで「西荻窪駅」(11.0%)、「阿佐ヶ谷駅」(8.9%)、「高円寺駅」(5.9%)、「浜田山駅」(5.6%)などの順になっています。



よく利用する駅周辺の満足度

『満足』が7割

- ◆ よく利用する駅周辺の満足度について聞いたところ、「やや満足」(45.9%)が4割半ばで、これに「満足」(23.9%)を合わせた『満足』(69.8%)は7割となっています。一方、「やや不満」(23.3%)と「不満」(4.8%)を合わせた『不満』(28.1%)は3割近くとなっています。

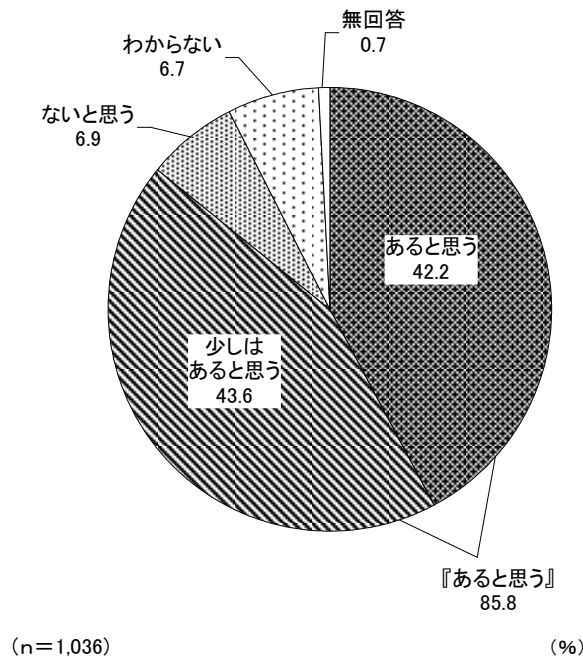


13. 障害を理由とする差別や偏見の有無について

障害がある人に対する差別や偏見の有無

『あると思う』が8割半ば

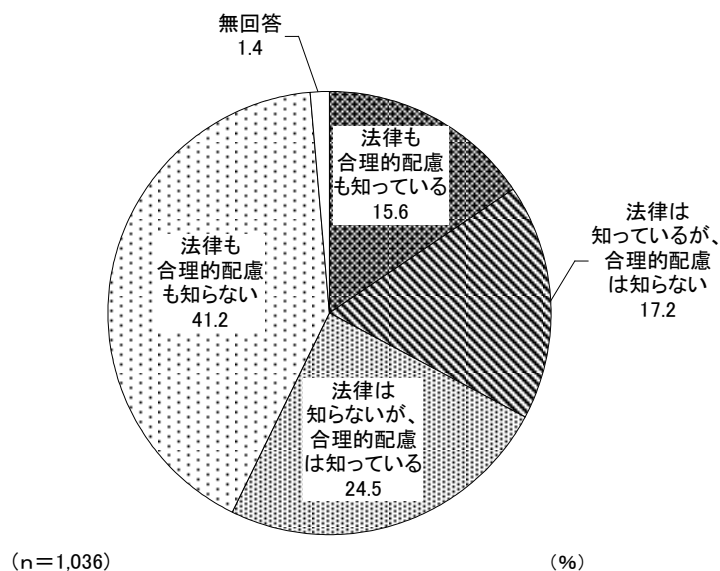
- ◆ 障害がある人に対する障害を理由とする差別や偏見があると思うか聞いたところ、「あると思う」(42.2%)と「少しはあると思う」(43.6%)を合わせた『あると思う』(85.8%)は8割半ばとなっています。一方、「ないと思う」(6.9%)は1割未満となっています。



「障害者差別解消法」や合理的配慮の認知度

「法律も合理的配慮も知らない」が4割を超える

- ◆ 「障害者差別解消法」や合理的配慮について知っているか聞いたところ、「法律も合理的配慮も知っている」(15.6%)は1割半ば、「法律は知っているが、合理的配慮は知らない」(17.2%)は2割近く、「法律は知らないが、合理的配慮は知っている」(24.5%)は2割半ばとなっています。また、「法律も合理的配慮も知らない」(41.2%)が4割を超えています。

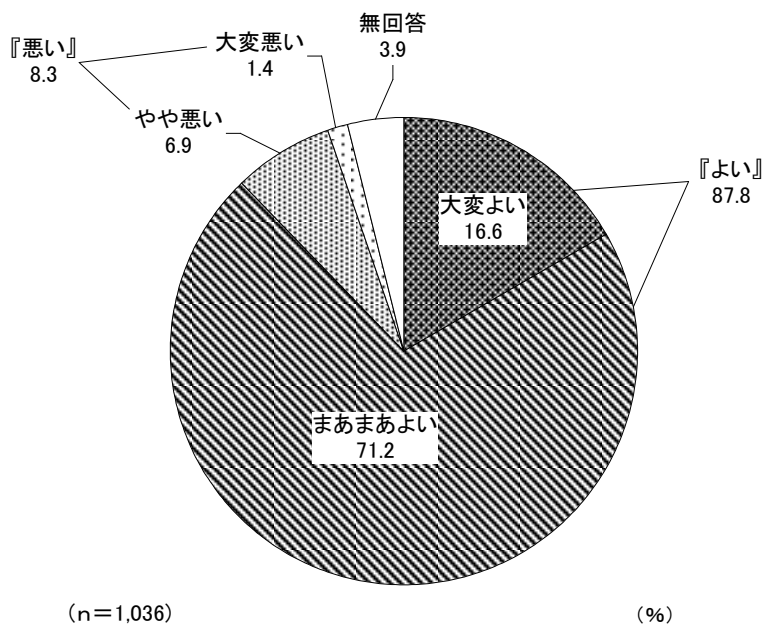


14. その他の区政について

区の職員の対応への印象

区役所の対応は『よい』が9割近く

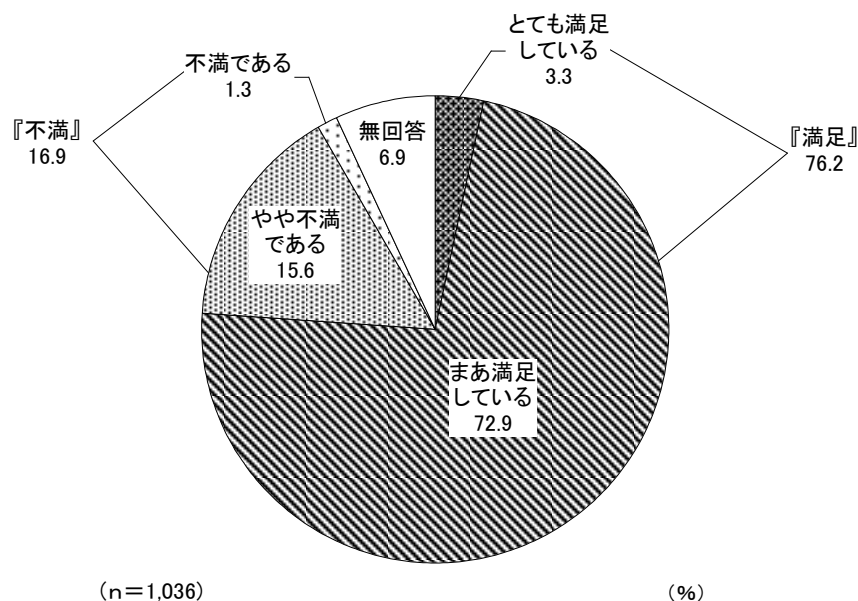
- ◆ 区の職員の対応への印象について聞いたところ、「まあまあよい」(71.2%)が7割を超え、これに「大変よい」(16.6%)を合わせた『よい』(87.8%)は9割近くとなっています。一方、「やや悪い」(6.9%)と「大変悪い」(1.4%)を合わせた『悪い』(8.3%)は1割未満となっています。



区の事業やサービスの満足度

『満足』が7割半ば

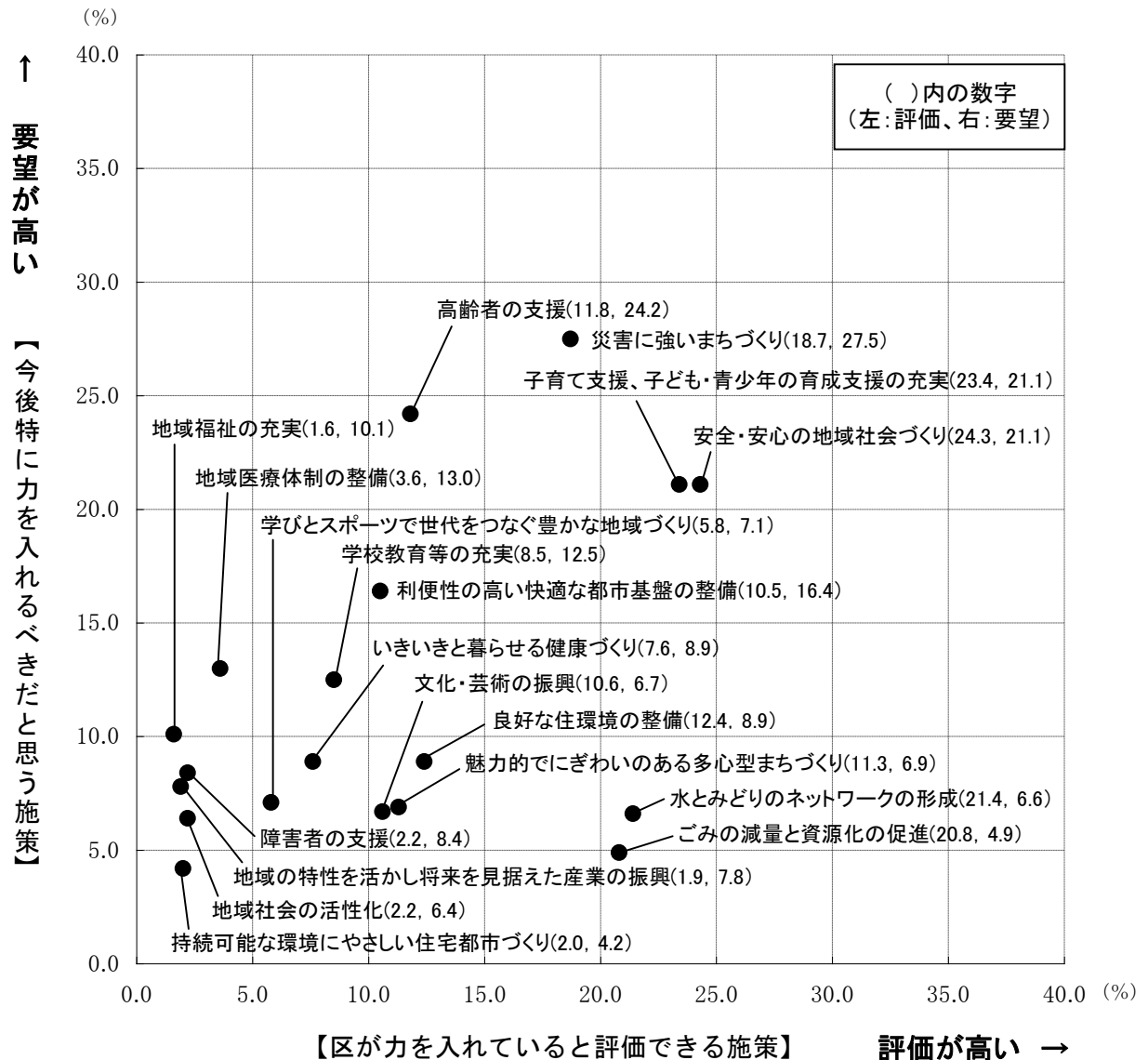
- ◆ 杉並区の事業やサービスの満足度を聞いたところ、「まあ満足している」(72.9%)が7割を超え、これに「とても満足している」(3.3%)を合わせた『満足』(76.2%)は7割半ばとなっています。一方、「やや不満である」(15.6%)と「不満である」(1.3%)を合わせた『不満』(16.9%)は2割近くとなっています。



杉並区の施策の評価と要望

施策の評価では「安全・安心の地域社会づくり」が2割半ば
 施策の要望では「災害に強いまちづくり」が3割近く

- ◆ 杉並区が力を入れていると評価できる施策を聞いたところ、「安全・安心の地域社会づくり」(24.3%)が2割半ばと最も高く、次いで「子育て支援、子ども・青少年の育成支援の充実」(23.4%)、「水とみどりのネットワークの形成」(21.4%)、「ごみの減量と資源化の促進」(20.8%)、「災害に強いまちづくり」(18.7%)などの順になっています。
- ◆ 杉並区が今後特に力を入れるべきだと思う施策を聞いたところ、「災害に強いまちづくり」(27.5%)が3割近くと最も高く、次いで「高齢者の支援」(24.2%)、「安全・安心の地域社会づくり」(21.1%)、「子育て支援、子ども・青少年の育成支援の充実」(21.1%)などの順になっています。
- ◆ 力を入れていると評価できる施策(施策の評価)と今後特に力を入れるべきだと思う施策(施策の要望)を相関させた散布図は以下のとおりです。横軸が施策の評価で、縦軸が施策の要望です。このグラフでは、**施策の評価が低く、施策の要望が高い領域(左上方)にある項目が比較的住民ニーズが高いもので、今後の行政課題となるものと考えられます。**



第50回 杉並区区民意向調査
区政に関する意識と実態
(要約版)

登録印刷物番号

30-0055

平成30年10月発行



杉並区

発行 杉並区 総務部 区政相談課

東京都杉並区阿佐谷南1-15-1

電話：03-3312-2111 (代)

実施 株式会社エスピー研

東京都千代田区飯田橋3-11-20

電話：03-3239-0071 (代)

・本紙の本文は、再生紙を使用しています。
